



2022～2023年度
大船渡西ロータリークラブ会報
七福人



会長 古内 一二

=会長指針=

副会長 山口 徹

幹事 今野 義也

お互いを理解しあおう

・・・ 例会記録 ・・・

11月第3週例会 2022年11月17日(木)

ソング：それでこそロータリー ボックス：21,000円 (報告者 新沼達央会員)

本日出席率：62.86% 前回修正後100% (メークアップ 16名) (報告者 新沼福三会員)

★ 会長の時間：古内一二会長



今日はこの頃ニュースでよく聞く「COP27」について話したいと思います。日本は、「地震大国」と言われ、世界の中でも最も自然災害の多い国ですが、ここ数年、世界を見ても度重なる自然災害が多数起きています。その大きな要因の一つが地球の温暖化だと言われています。地球温暖化は、いわゆる「温室効果ガス」の増加による異常気象で、洪水、ゲリラ豪雨、干ばつ、ハリケーンなど、今までに経験のない規模で災害が起きています。特に深刻なのは、海面の上昇で南太平洋の国ツバル島は、島そのものが水没しかねない危機をむかえています。今月11月6日から18日まで、エジプトのシャルム・エル・シェイクで「COP27」が全世界190か国の参加で開催されており、日本からは西村環境大臣が参加しております。「COP」とは「Conference of the Parties」の省略で日本語では「締約国会議」と訳され、条約を結んだ国々による会議という意味だそうです。「27」は27回目という意味です。1995年以来毎年のように開催されてきましたが、特に有名なのは、1995年開催の第3回目の「京都議定書」の決議と2015年開催での「パリ協定」の新たな国際的な枠組みの決議で、皆さんもよく耳にしたことがあると思います。「京都議定書」では、CO2の排出削減を先進国だけに課し、CO2排出削減の具体的な数値目標が課せられましたが、「パリ協定」では世界全体のCO2の削減数値目標を提示する一方で、途上国を含む全ての国々にも、温室効果ガス排出削減の努力を求めました。こうした中、日本政府は2020年に、2050年までにカーボンニュートラルを達成すると表明し、「地球温暖化対策推進法」を成立しました。日本一国の努力で改善されるものではありませんが、まず我々一人一人がCO2削減の意識を持ち、普段の生活の中で努力をしなければならないと思います。途上国への多額の資金援助も必要ですが、それだけでは根本的な解決策にはなりません。

今、日本が先進国としてアジアのリーダーになるには、この脱炭素を含めた地球環境問題の分野での活躍は必須だと思います。



1 ガバナー事務所より

- ・ 地区大会出席へのお礼状が届いています。
- ・ 青少年交換第1回オリエンテーション開催の案内が届いています。

日時 12月17日（土）12時30分～受付 終了 15時30分

場所 常盤木学園高等学校 締め切 12月5日

案内対象 会長 国際奉仕委員長（校長 担当教諭）

- ・ メルボルン国際大会への参加案内が届いています。詳細は皆さんにメール送信済み

2 米山奨学会よりハイライト米山272号が届いています。

- ・ 秋の外国人叙勲 米山学友ライ・ミンチュさんに旭日双光章

村上春樹氏の作品40冊以上を中国版翻訳 中華圏における村上春樹ブームの先駆者



本日のプログラム



ロータリー情報アワー

★ 浜田浩誠会員卓話



本日は、ロータリー情報の卓話を話してほしいと古内会長と山口幹事から依頼がありましたのでお話をさせていただきます。

さて、ありきたりの事を話しても皆さん興味がないでしょうから、今日はネットで見つけたロータリーの悪いニュースを2件お話をします。

1：「強制わいせつ罪で逮捕状」

兵庫県のあるロータリークラブの話です。自ら「社会的責任」や「高い倫理観」を掲げた集団のメンバー「いわゆる地元の『名士』とされる人たちの集まりで、逮捕された4人はいずれも幹部でした。60代以上の3人は会長経験者で、今は理事を務めています。よりによって『紳士』を標榜する彼らが、逮捕対象者になるとは、捜査員たちも眉をひそめています」

そもそもロータリークラブとは何か。別のクラブに属するある会員が説く

「経営者のか医者や弁護士など一定の社会的地位にある人たちによる親睦団体で、高い倫理基準と社会奉仕の精神を持つことが条件とされています。例えば駅前の広場にモニュメントを寄贈したり、学生団体に寄付金を贈ったりしています。実際の会員は経済力のある人ばかりなので、人脈作りにもつながるし、所属すること自体が一つのステータスにもなっています」

このロータリークラブは1950年に創設され、皮肉にも、以下のような活動の意義が掲げられている。

「人ととの出会い、繋がりを大切にした親睦を行い、人生における奉仕活動を目的にしています」
だが実際の親睦の場で行われたのは社会奉仕とはほど遠い行為であった。

2：“10億円超”詐取した元郵便局長の浪費癖 豪華別荘、クラブで豪遊、ゴルフ三昧

元郵便局長が知人らから多額の現金をだまし取った。

日本郵便とゆうちょ銀行は被害を受けた人は50人、被害額が計10億円を超えると発表した。

元局長は社内調査に対し、現金を詐取したことを認め、「遊興費などに使った」と説明し、日本郵便は被害者に損失の全額を補償するという。

郵便局長、ロータリークラブ役員という肩書と信用をバックにカネを集めては豪快に使っていた彼は、かつてロータリークラブの会報に新年にあたっての抱負を寄せていた。

「人に優しく」 優しいどころか、人を騙していた。

ロータリークラブとは何か？ 一度自分の行動・言動を振り返ってみようと思います。